

# シマフクロウ

ロシアの極東部から、北海道の中央～東にのみ生息しています。日本で見られるフクロウ類の中で一番大きく、翼を広げると180cmにもなります。その大きな体と黄色い目、そしてミズクという名前はついていませんが、大きな羽角が特徴です。北海道には一年中生息していますが、その数は160羽程度しかいません。そのため絶滅危惧種に指定されており、いろんな自治体が保護に力を入れています。



シマフクロウはウグイやオシロココマなどの魚類を中心に、カエルや小型哺乳類なども食べます。



なわばりをもつため、その範囲内を飛び回って餌を探します。

しかし、魚がとれるきれいな川が土地開発により少なくなったり、ダムの開設によりサケ類の遡上が止まってしまうなどの理由で餌が取れず、餓死してしまう個体も少なくありません。

## アイヌ民族とシマフクロウ

北海道に古来から住んでいたアイヌ民族とシマフクロウは深い関わりがあり、人々はシマフクロウを「コタンコロカムイ(村を守る神)」と呼び、村を守ってくれる神様としてとても大切にされていました。



## Q.シマフクロウを守るためには?

現在いる自治体がシマフクロウを守る取り組みを行っています。例えば人工の巣箱をかけたり、餌場を作ったり、木を植える活動などを行い、多くの人が努力しています。

実はシマフクロウが減少している原因は環境破壊以外にも、シマフクロウを見たい人が近づきすぎて繁殖がうまくいかなかったり、車にはねられてしまったりなどの理由も増えています。

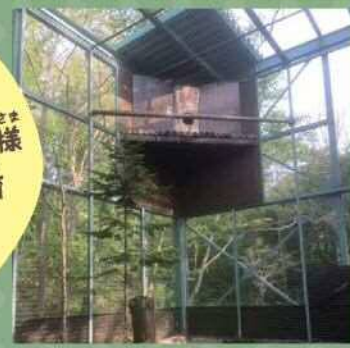
なぜシマフクロウが減っているのか、ぜひ周りの人に伝えてみてくださいね。



道内に生息する約160羽のうち、半分以上が知床地域に生息し繁殖しています。シマフクロウは大きな広葉樹の洞に巣を作るのですが、森林伐採などにより樹が減っており、繁殖ができず個体数が増えません。



当園ではオスとメスを1羽ずつ飼育していますが、「野生復帰施設」という普段はお客様が入ることができない場所で飼育しているため見ることはできません。



Sapporo Maruyama Zoo  
2019 vol.167 秋号  
さっぽろ 円山動物園 だより

# 北海道の自然とフクロウ

編集・発行：札幌市円山動物園  
令和元年(2019年)10月28日発行  
〒064-0959  
札幌市中央区豊ヶ丘3番地1  
TEL/011-621-1426 FAX/011-621-1428  
http://www.city.sapporo.jp/zoo/



開園時間	3月1日～10月31日…午前9時30分～午後4時30分 11月1日～2月末日…午前9時30分～午後4時
休園日	毎月…第2、第4水曜日(祝日の場合は翌日) 4月・11月…第2水曜日を含むその週の月～金曜日 12月…29～31日
料金	大人年間パスポート/1,000円 団体(30名以上)/540円 大人(高校生以上)/600円 小人(中学生以下)/無料 駐車料金 普通車 /1回700円

飼育動物数 (2019年8月末現在)		
哺乳類	59種	300点
鳥類	41種	165点
爬虫類	51種	239点
両生類	15種	254点
魚類	1種	7点
合計	167種	965点

札幌市円山動物園公式HP  
http://www.city.sapporo.jp/zoo/  
札幌市円山動物園 TEL011-621-1426

動物取扱業に関する表示  
園長名：札幌市円山動物園 園長 加藤 伸  
事業所の名称：札幌市円山動物園  
事業所の所在地：札幌市中央区豊ヶ丘3番地1  
動物取扱業の種別(登録番号)：展示(札幌動物園437号)、販売(札幌動物園1081号)、保管(札幌動物園1082号)、貸出(札幌動物園1083号)、訓練(札幌動物園1084号)  
登録年月日：平成19年5月21日(展示)、平成24年5月21日(販売、保管、貸出、訓練)  
有効期限の末日：平成34年5月20日(展示、販売、保管、貸出、訓練)  
動物取扱責任者：山本秀明

SAPP-RO  
Sapporo City Wi-Fi  
SAPP-RO  
さっぽろ市  
02-03-19-1009  
31-2-768

# フクロウあれこれ

まる やま どう ぶつ えん し じく ほっ かい どう しょうかい  
**円山動物園で飼育している北海道のフクロウたちを紹介します!**

## 目

他の鳥類と違い、目が顔の正面についているので、広い範囲で獲物を立体的に見分けることができます。  
 ただ、わたしたち人間のように目だけを動かすことができないため、首がよく回るようになっています。



## 耳

フクロウの耳は一見どこにあるかわかりませんが、実は羽毛の下に隠れて見えただけで、かき分けると耳の穴が見えます。  
 耳の穴の位置は、左右で微妙に上下にずれており、これによって距離や高さ、角度までも測ることができますと言われています。

## 首

首は左右に270度まで動かすことができますと言われています。これによって更に広い範囲で獲物を探ることができます。

## 翼

フクロウのなかまは、飛ぶときにバサバサといった羽音が立たないことで有名です。  
 これは「風切羽」という羽の先がギザギザに分かれているためです。これによって羽ばたいたとき、空気が抜けていくため、音が立たないのです。  
 そのため獲物に気づかれずに、確実に捕まえることができるようになっています。



## エゾフクロウ

北半球に広く分布するフクロウの亜種で、一年中見ることができます。日本には他に3つの亜種がありますが、中でも一番白っぽい色をしています。  
 食性は肉食で、ネズミなどの小型哺乳類や鳥類、カエルなどの両生類も食べます。



当園では8羽飼育しています。(非公開含む)



## エゾフクロウの目

この特徴的な真っ黒な目は、暗闇の中でも獲物をしっかりと見つけることができます。木のうえでじっと獲物を通るのを待ち、通る音がしたら、羽音を立てずに捕まえに行きます。シロフクロウほど飛ぶことが得意ではありませんが、ネズミなどが活発に活動する夜に適応した種といえます。

## シロフクロウ

北極圏のツンドラ地帯に生息しており、北海道には冬鳥としてごく少数が渡ってくる場合があります。



当園ではメス1羽を飼育しています。

## オス♂

真っ白な羽は雪の中で保護色となります。

## メス♀

この模様は産卵場所となる砂利や小石に紛れることができ、安全に子育てをすることができます。



## シロフクロウの特徴

シロフクロウの特徴として、夜だけではなく、日中も活発に飛び回ります。自然界では主にネズミを食べていますが、ウサギや鳥類も捕まえることがあります。  
 森の中で暮らすエゾフクロウとは異なり、木々が少ない土地に生息しているため、長い距離を飛ぶことができ、自分から獲物を探しに行きます。



## Q.フクロウとミミズクの違いは?

分類上はどちらも同じなかまですが、「羽角」という耳のように見える羽があるものが、一般的にミミズクと呼ばれています。  
 ただし、シマフクロウは羽角がありますがミミズクとは呼ばれません。例外もあるんですね。



エゾフクロウには羽角はありません。

## Q.北海道で見られるフクロウのなかまは何種類いるの?

今回ご紹介したエゾフクロウ、シロフクロウ、シマフクロウの他に、アオバズク、トラフズク、コミミズク、コノハズク、オオコノハズク、キンメフクロウ、ワシミミズクの全部で10種類が確認されています!

